小山高だより

令和４年７月11日発行
令和４年度 No.2
静岡県立小山高等学校
http://www.edu.pref.shizuoka.jp/oyama-h/home.nsf

第34回 笙陵祭 ～流転～

6月3日（金） 文化の部【校内発表】
4日（土） 文化の部【一般公開】
5日（日） 体育の部

今年の笙陵祭も大いに盛り上がりました。3年生の同居家族のみ来場可能という制限はありましたが、一般公開も行うことができ、200人を超える多くの方々にご来場いただきました。また、出来合いのものを販売する形ではありましたが3年生の模擬店も復活し、1･2年生も工夫を凝らした展示が多く大盛況を収めました。ありがとうございました!!
今回の小山高だよりでは、そんな笙陵祭の一場面を写真でご紹介します。さらに、笙陵祭の企画･運営で尽力した多くの先生方･生徒たちのなかから3名に「笙陵祭を終えて」というテーマで振り返りをしてもらいましたので、是非ご一読ください。

生徒課（笙陵祭総括）　髙橋　大地 先生

今年度の笙陵祭のテーマは「流転」でした。時代が激しく移り変わっていく中で、我々は新しいことに挑戦していきたい。そんな思いで、生徒たちは笙陵祭に取り組みました。2年ぶりに模擬店を開催したり、従来よりも装飾の規模を大きくしたり、制限下ではありますが一般の方にご来場いただいたりと、多くのことに挑戦し、大きなトラブルなく、終えることができました。生徒たちには、この経験を大きな成功体験として、今後の生活に生かしてもらいたいと思います。

文化の部
総合優勝
赤カラー

体育の部
総合優勝
青カラー

カラー
パフォーマンス
第1位
黄カラー

第34回笙陵祭
総合優勝
青カラー

オープニング

クラス展示(1年)

クラス展示(2年)

青空コンサート

模擬店（3年）

ダンス部

教員展示

ナンバーマッチング

部活動展示

体育科(体育の部担当)　井上　実奈子 先生

体育の部が終わったと同時に、いっきに肩の荷が下りた。当日を迎えるまでは不安で、朝、空を見上げて“今日一日天気がもちますように”という願いから始まり、開会式が始まるとプログラム通りに進行しているか、けが人はいないか、不手際がないかと頭はフル回転だった。それでも体育委員会や運動部の生徒が手伝ってくれ、先生方にも支えて頂き、やりきることができた。

本当に感謝の気持ちでいっぱいです。来年度はもっと良くできるようにリベンジします！

体育委員長(33HR)　清水　太智 さん

今年の笙陵祭体育の部は、例年よりも先輩と後輩の壁があまりなかったように感じます。特にカラーパフォーマンスでは、どのカラーもパフォーマンスが終わるまでずっと笑顔でパフォーマンスをしていました。

この体育の部を通して、僕は色々なことを学びました。団結力はとても大切だということ、みんなで一つのことをやり遂げたときの達成感や爽快感などは素晴らしいということです。この経験を忘れずに、これからの学校生活を送りたいと思います。

開会式

バッコミ

大玉転がし

100m走

生徒会企画

部活動対抗リレー

綱引き

HR対抗リレー

閉会式

カラーパフォーマンス

行　事　予　定

7月

15日(金)　球技大会
22日(金)　生徒総会・薬学講座
25日(金)　終業式
26日(火)　全体夏期補習【８月２日(火)まで】

8月

3日(水)　中学生１日体験入学
29日(月)　始業式・防災訓練
30日(火)　課題テスト

小山高校
インスタグラム
はじめました。

OYAMA_H